



南極の将来を担う若者からの メッセージを募集します！

2025年1月18日と19日に神戸で開催される南極シンポジウムで
メッセージを発表し、議論に参加して下さる方をご招待します。

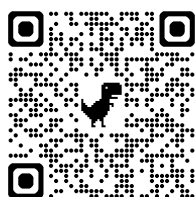
もう一度考えよう！ 「平和と科学のための南極」

応募締切：2024年12月20日（金）17時（必着）

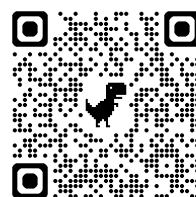
応募書類をダウンロードし作成のうえ、フォームからご応募ください。
応募に関連する情報はウラ面及びHPをご覧ください。

南極の将来を担っていただける方であれば、どなたでもご応募いただけます。
公正な選定後、招待者1名に12月27日（金）にメールでご連絡します。

応募書類



応募フォーム



シンポジウム HP : https://www.research.kobe-u.ac.jp/gsics-pcrc/antarctic_symposium2024

問合せ先：神戸大学極域協力研究センター（PCRC）シンポジウム事務局
[pcrc.symposium\[at\]gmail.com](mailto:pcrc.symposium[at]gmail.com)



神戸大学 GSICS 極域協力研究センター

応募 関連情報

2026年5月、南極条約協議国会議（ATCM）が広島市で開催されます。この会議に向けて企画された『南極ワークショップおよびシンポジウム』には、ATCMでの交渉で重要な役割を担う外交官、政府関係者、南極科学者などが集まります。シンポジウムは、ライブ配信されるため、日本中、そして世界中の南極関係者が耳を傾けています。

日本の若者が南極について、今、何を思い、ATCMに何を期待するのかを、ワークショップ/シンポジウム場で、発信していただきたいと思います。奮ってご応募下さい。

◆シンポジウムの趣旨◆

今、南極は気候変動の影響を受けており、その環境や生態系が大きく変化し、不可避といわれる南極氷床の融解は1-2世紀後には世界の海面を5mも上昇させるという研究結果も出ています。ロシアによるウクライナ侵攻といった国際情勢の悪化も南極の平和に影を落とし始めています。2026年春に、平和都市・ヒロシマでATCMが開催されることを受け、今一度、南極を「平和および科学に貢献する自然保護地域」（南極環境保護議定書第2条）として維持していくことの重要性を考えてみたいと思います。



ATCM：南極条約に基づき、南極の平和と環境を守り、科学活動を推進するための政策論議を行う国際的な交渉の場です。日本を含め南極で活発に活動している29の協議国と条約に加盟する28の国の合計57ヶ国と共に、南極の平和や環境、科学に関わる多くの国際団体・NGOも参加します。

応募いただくメッセージでは、南極条約及び環境保護議定書が守ろうとしている価値に関連づけて、ATCMに期待することを5分程度で発表してください。専門家とともに、ワークショップ/シンポジウムでも議論に参加いただきます。

情報源の例：

外務省：https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/kankyo/jyoyaku/s_pole.html

環境省：<https://www.env.go.jp/nature/nankyoku/kankyohogo/kankyohogo/torikumi/index.html>

神戸PCRC 南極条約の研究：

<https://www.research.kobe-u.ac.jp/gsics-pcrc/ja/antarctic.html>



シンポジウム HP



神戸大学 GSICS 極域協力研究センター